

自動運転バス実証 実施報告



2026年6月19日

NTTドコモビジネス株式会社

NTTアドバンステクノロジー（株）、（株）NTTデータ経営研究所、スタンレー電気（株）、（株）東海理化、ドコモ・テクノロジー（株）、相鉄バス（株）、先進モビリティ（株）、NTTアクセスサービスシステム研究所、NTTネットワークサービスシステム研究所

協力：横浜市経済局

1. 実証概要

近年、運転手不足により公共バスの維持が難しくなっています。
将来的に運転手が減ってもバスが維持できるよう、自動運転バスへの営業運行の検討のため実証事業を実施いたしました。
本実証事業では、高品質なサービスを確立することを目的に、鶴ヶ峰駅～よこはま動物園のルートで運行いたしました。

実証期間	■ 運行期間 2026年1月17日(土)～2026年1月22日(木) ※土日含む ※準備運行：2025年12月25日(木)～2026年1月15日(木)	運行時間帯	9時～17時 ※30～45分に1便の間隔で運行
------	--	-------	-----------------------------------

走行車両

定員：11人



小型バス（ポンチョ）2台

乗車方法

事前予約制

専用webサイトからの予約により、どなたでも乗車可能

※本実証では運転手が同乗しました。

必要に応じて運転手が手動に切り替えて対応することで、事故なく安全に実施致しました。

2. 運行ルートとバス停

運行ルート



— 走行ルート (相鉄バス 旭10系統)



乗降場所

- ・ 鶴ヶ峰駅
- ・ よこはま動物園正門

渋滞回避のための停留所 ※ 乗降不可

状況に応じてバス停 (停留所) に停車し、後続の車両を先に行かせることで渋滞発生を回避致しました。

- ・ 立丁場
- ・ 代官前
- ・ 谷戸入口
- ・ 旭陵高校坂下

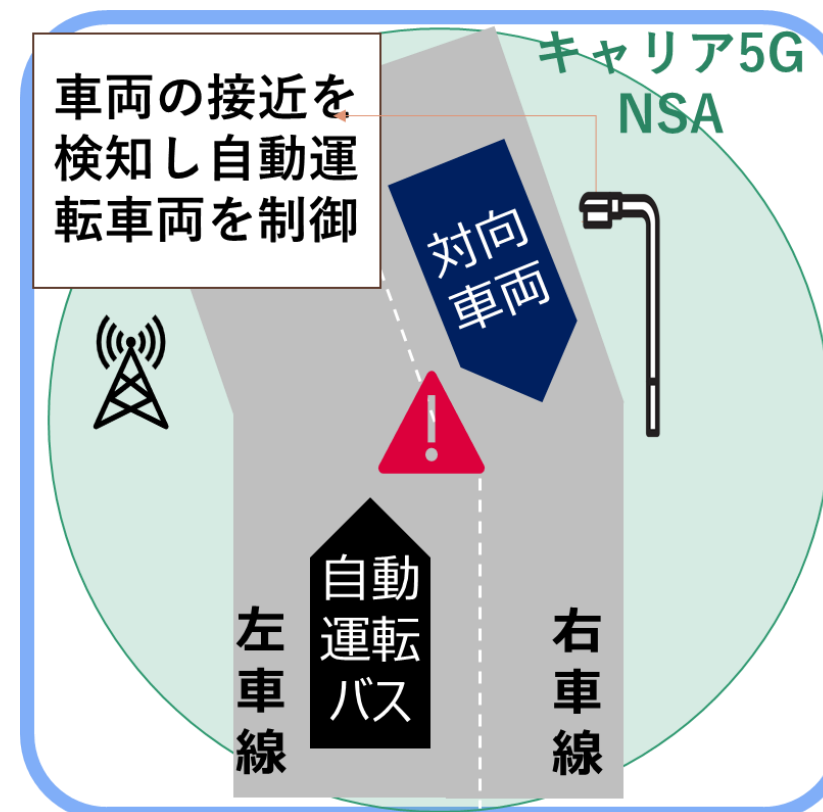
3. 検証項目

今回の実証では、離合制御（狭い場所でのすれ違い）と車列回避の検証を行いました。



離合制御地点

1 鶴ヶ峰自動車学校付近



車列回避地点

2 よこはま動物園 駐車場付近



※スマート道路灯は、車両の接近等を検知し、自動運転バスを制御するために設置しました。

3-1. 検証結果

経路全体での自動走行達成率は**96.3%**となった。経路全体における路駐車、検証対象とは別の狭隘道路における対向車が主な手動介入要因であるため、システムの有用性を確認した各路車協調システムを活用することで自動走行達成率の改善が可能であると考えられる。

経路全体 96.3%

検証項目ごとの自動運転率は以下の通りです。

離合制御 99.13%



対向車が来ていることをドライバーにアラート表示し、バスは一時停止し、対向車通過後に発車。

車列回避 100%



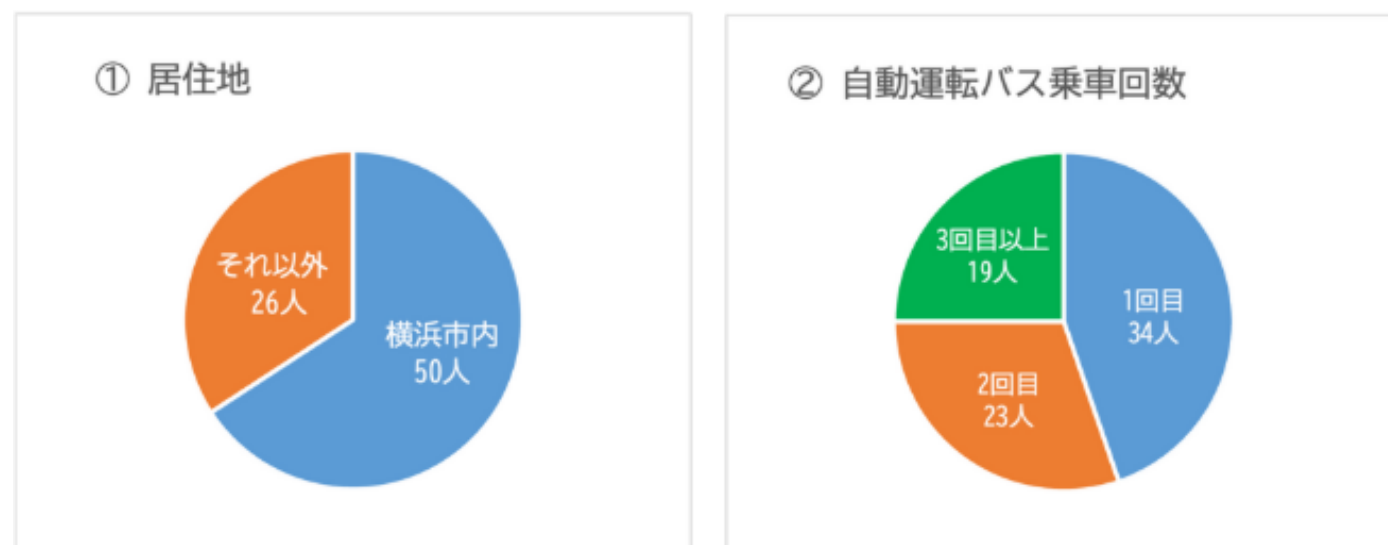
車列および道路灯からのカメラおよび物標情報に基づいた出庫車両が居ない場合に車列回避を実施。

自動運転化率とは…
1便の走行距離に対し、自動走行(走行距離-(手動介入+手動走行))を行った距離の割合

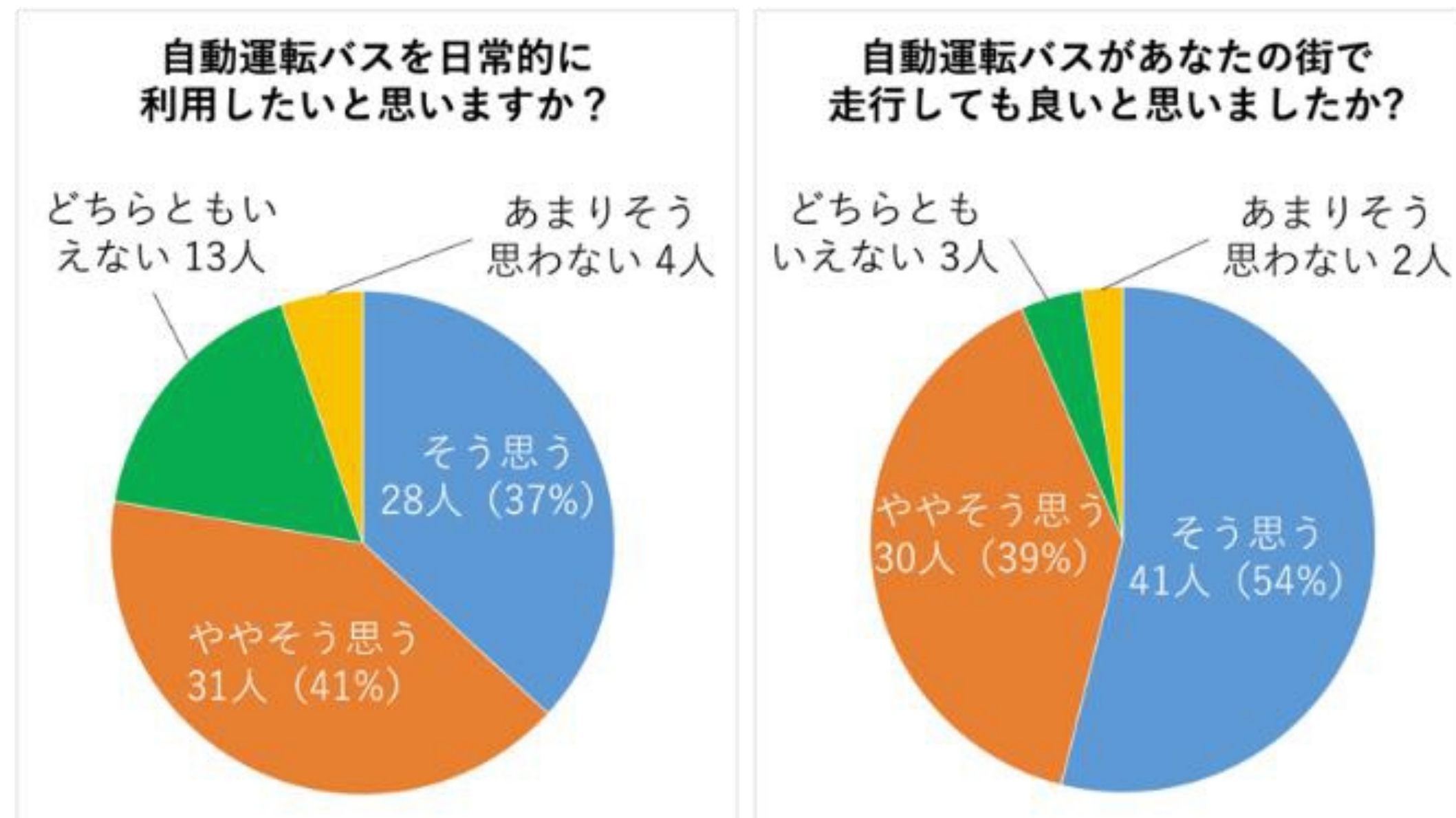
4. アンケート結果

試乗会参加者を対象にアンケートを実施致しました。
本調査では10代～60代の男女76名から回答を頂きました。

居住地、試乗回数について



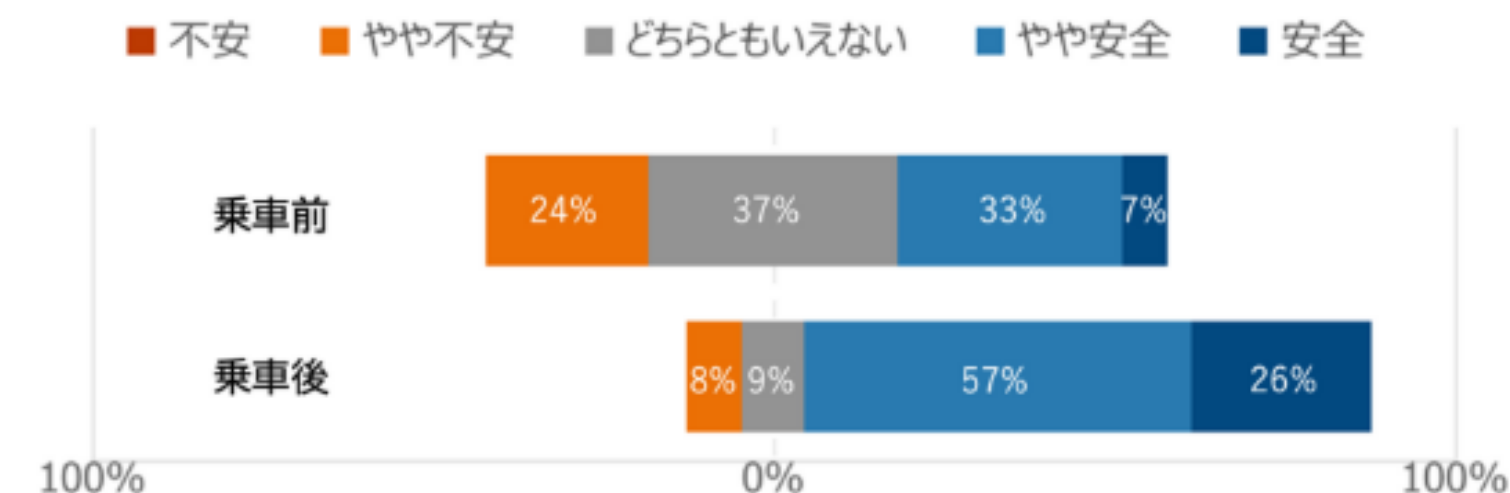
日常的な利用意向について



ポジティブ：59名（78%）

ポジティブ：71名（93%）

安全に対する意識変容について



乗車前は「安全・やや安全」の合計が 40%
乗車後には 83%（安全 26% + やや安全 57%）へと倍増